

令和元年度
事業報告書

公益財団法人エイズ予防財団

事業部門

I 寄付金等による事業

1 普及啓発事業（公1・普及啓発事業）

(1) コミュニティアクション 2019

「世界エイズデー」キャンペーンテーマ「UPDATE！話そう、HIV/エイズのとなりで～検査・治療・支援～」の下、厚生労働省や地方自治体のキャンペーンと協調しつつ、同時並行的に進めるコミュニティ主導のキャンペーンに参加した。

実施期間：令和元年11月1日（金）～12月31日（火）

実施内容：共通課題による全国的なエイズイベント開催の促進及び全国のエイズイベントの情報集約と広報支援

(2) 啓発用パンフレット等の作成・提供

HIV感染症の基礎情報、HIV感染予防の具体的な方法等、HIV感染予防啓発のためのパンフレット等を制作し、自治体・保健所・企業・学校・NGOなど希望する団体等に無償提供した。

①「HIV感染症・エイズ HIV検査普及週間 2019」30,000部

②「HIV感染症・エイズ 世界エイズデー 2019」38,000部

(3) 「HIV検査普及週間」「世界エイズデー」に合わせた啓発活動

ア「HIV検査普及週間」キャンペーン

厚生労働省主催のHIV検査普及週間イベント「爆笑レッドリボングランプリ 2019」（5月31日（金）19時～21時）に連動させ、街頭キャンペーンを実施した。

日時：令和元年6月2日（日）13時30分～15時30分

場所：渋谷駅ハチ公前周辺（東京都渋谷区）

配布物：パンフレット、啓発メッセージ付ウェットティッシュ、コンドーム等
3,000セット

イ「世界エイズデー」キャンペーン

厚生労働省主催の世界エイズデーイベント「RED RIBBON LIVE 2019」（11月28日（木）18時30分～21時）に連動させ街頭キャンペーンを実施した。啓発グッズとして、啓発メッセージを付した使い捨てカイロを作製、配布した。

日時：令和元年12月1日（日）13時30分～15時30分

場所：渋谷駅ハチ公前周辺（東京都渋谷区）

配布物：パンフレット、使い捨てカイロ、コンドーム等3,000セット

(4) Act Against AIDS 共同事業

AAA 運営事務局と共同し、「正しい知識を身につけること」が HIV 感染の予防になり、感染者・患者への偏見、差別も生まないという呼びかけを基本として、エイズ知識啓発パンフレット、ポスターを配布した。

HIV 検査普及週間には札幌、新潟、名古屋、大阪の FM 局とのタイアップにより番組内での啓発メッセージ発信とイベントでのブース出展により HIV 検査受検を呼びかけた。

また、10 月には広島、福岡において FM 局とのタイアップに加え、自治体の協力が得られ、キャンペーンに合わせた臨時 HIV 検査が行われた。

世界エイズデーに際しては、これまで AAA が単独で開催していたコンサート・イベントに共同のブースを出展し、啓発活動を行った。

(5) 大阪におけるエイズ予防啓発活動

ア「大阪エイズウィークス 2019」の実施

関西地域での HIV 感染症／エイズへの関心を喚起するため、世界エイズデーの前後数週間を大阪エイズウィークス 2019 とし、エイズに関する様々な領域で活動する NPO・団体・個人が、自治体・企業・メディア等と連携しながら、それぞれの得意分野でそれぞれの対象者に焦点を当てたきめの細かい企画が行われるよう働きかけた。

共同街頭キャンペーンとして、JR 大阪駅にてグッズの配付とともにエイズ予防を呼びかけた。

名 称：大阪エイズウィークス 2019 共同街頭キャンペーン

日 時：11 月 30 日（土）13 時～15 時

場 所：OSAKA STATION CITY カリヨン広場（大阪市北区）

配布物：パンフレット、啓発メッセージ付使い捨てカイロ、コンドーム等を、啓発メッセージをプリントした手提げ型クリアファイルに入れ配布。配布数は 2,000 セット。

イ HIV・エイズ予防啓発イベントの実施

タイトル：「いまなら彼をエイズで亡くすことはない」

内 容：映画「ボヘミアン・ラプソディ」上映会とトーク

エイズでこの世を去ったフレディ・マーキュリーがボーカルを務めていた伝説のバンド<クイーン>の物語『ボヘミアン・ラプソディ』の特別上映会。FM COCOLO DJ 野村雅夫氏と白阪琢磨理事長によるトークセッションによりエイズについての最新情報等を伝えた。

開催日：12 月 13 日（金）18 時～21 時

会 場：HEP HALL（大阪市北区）

参加者数：74 人

ウ YouTube 配信用啓発動画の作製・公開

30歳以下の利用率が80%を超えているYouTubeでの配信を目的としたHIV感染症・エイズ啓発動画を作成、配信した。

タイトル：「考えよう！身近なHIV・エイズの話」

内容：第1話「エイズって何？」(3分44秒)、第2話「感染ルートと予防法を知ろう」(3分05秒)、第3話「HIV陽性者の日常」(6分03秒)、第4話「HIV・エイズの復習をしよう」(3分47秒)

(6) その他啓発普及事業

地域で行われているイベント等にブースを設置し、パンフレット、レッドバンド等の配布を行うとともに、募金活動を実施した。

ア ブース出展による広報

「RED RIBBON LIVE 2019」ブース設置

日時：令和元年11月28日(木)18時30分～21時

場所：マイナビBLITZ赤坂(東京都港区)

配布物：予防啓発グッズ・パンフレット500セット

備考：世界エイズデーポスターコンクールの入賞作品を展示

イ 第33回日本エイズ学会学術集会・総会におけるブース設置とアンケート調査

UNAIDSの公開資料を翻訳・冊子化し、エイズ対策関係者へ情報提供した。

啓発資材の提供と併せて、「世界エイズデー」キャンペーンテーマに対するアンケート調査を行い、約70名から回答を得た。

日時：令和元年11月27日(水)～29日(金)

場所：熊本城ホール(熊本県熊本市)

ウ オカモト株式会社「抗ウイルス剤付きコンドーム」発表イベント

日時：令和元年6月3日(月)8時～10時

場所：ベルサール九段(東京都千代田区)

内容：白阪琢磨理事長による講演「性感染症の種類、性感染症予防の現状と課題など」

エ 東京レインボープライド2019におけるフロート出展

日時：平成31年4月28日(日)

場所：代々木公園イベント広場

内容：「東京レインボープライド2019」において、パレードのフロート(山車)を出展した。

2 助成事業（公2・助成事業）

エイズに関する啓発普及活動を行うボランティア団体や NGO に対し、その活動を支援するため助成金を交付した。平成 30 年 12 月に公募を行い、この事業の公正中立な実施のために設置された助成事業選考委員会による審査、選考結果を踏まえて助成を行った。対象事業、助成団体及び交付金額は、以下のとおり。

ア エイズ患者・HIV 感染者等に対する社会的支援事業

1	NPO 法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス	600,000 円
2	NPO 法人レッドリボンさっぽろ	400,000 円

イ エイズ予防に関する啓発普及事業

3	AIDS 文化フォーラム in 横浜組織委員会	700,000 円
4	NPO 法人スマートらいふネット	700,000 円
5	PLANET（HIV と共に生きる会）	100,000 円

3 情報収集提供事業（公4・調査研究事業）

インターネットなどにより、国内外の HIV 感染症・エイズに関する情報の収集に努めた。

4 国際協力事業（公6・国際協力事業）

（1）訪問者の受け入れ

ア 台湾レッドリボン基金、台湾伴侶權益推動連盟、台北市議会議員の訪問を受け入れ、日本のエイズ発生動向、エイズ対策の現状、エイズ予防財団の活動などについて講義を行った。

日 時：平成 31 年 4 月 26 日（金）10 時～12 時

人 数：20 名

イ Youth Against AIDS（ドイツを拠点とした国際団体）の代表者の訪問を受け入れ、日本のエイズ発生動向、エイズ対策の現状、エイズ予防財団の活動などについて講義を行った。

日 時：令和元年 5 月 8 日（水）10 時～12 時

人 数：1 名

（2）Fast-Track Cities 2019 国際会議への出席

IAPAC（エイズケア提供者国際協会）主催・UNAIDS 共催の国際会議「Fast-Track Cities 2019」に出席し、HIV 感染症・結核・ウイルス性肝炎の対策をより加速してきた高速対応都市（Fast-Track Cities）の成功例を学ぶとともに、IAPAC 及び UNAIDS と日本代表団によるミーティングを開催し、日本国内でのこれまでの Fast-Track Cities の取り組みに関する情報共有を行った。

出席者：白阪琢磨理事長、柏崎正雄

訪問地：英国 ロンドン

日 程：令和元年9月6日（金）～13日（金）

（3）国際セミナーへの出席

「Taiwan and Japan friendship seminar on Substance use and HIV/AIDS treatment」に出席し、エイズ予防財団における HIV/エイズの予防活動について発表を行った。

出席者：柏崎正雄

日 時：令和元年10月29日（火）13時～17時

会 場：国立精神・神経医療研究センター

（4）UNAIDS（国際合同エイズ計画）との協力

ア UNAIDS 対外事業・ドナー事業部との会議への出席

UNAIDS における日本担当者（対外事業・ドナー事業部）の異動を契機に、後任者への引継ぎ等のサポート業務を行うため、各関係者との会議に出席した。日本担当者の業務内容を共有し、今後の日本での活動・イベントの計画について意見交換を行った。

出席者：柏崎正雄

訪問地：スイス連邦 ジュネーブ

日 程：令和2年2月28日（金）～3月6日（金）

イ 翻訳協力

UNAIDS 等から発表された冊子について翻訳協力を行い、ホームページにて公開した。

①「国連事務総長報告 2019」日本語訳

② UNAIDS「若手専門職」日本語訳

5 抗ウイルス療法支援事業（公1・普及啓発事業）

近年進歩の著しい抗ウイルス療法について、冊子等を制作し、希望する医療機関等に無償提供した。

①『服薬をはじめる前に』（患者配布用）10,000部

②『服薬をはじめる前に』（ムンテラ用）600部

③『服薬をはじめる前に』（英語版）PDFのみ

④服アド手帖「診療・虎の巻」（第9版）1,000部

⑤服アド手帖「お薬・虎の巻」（第11版）1,000部

6 ファンドレイジング活動（公益目的共通事業）

上記公益事業を実施するため、関連企業等に対し寄付金の募集を行った。

7 エイズ国際会議派遣事業（公2・助成事業）

エイズ関連国際会議に参加する国内の若手臨床医等で、一定条件を満たす者について旅費等を助成し、各国関係者との意見交換及びエイズに関する最新の知見を得ることにより、わが国の HIV 感染症・エイズ診療の広範な充実、活性化を図った。なお、CROI 2020 は新型コロナウイルス感染症のためオンラインでの会議開催となった。

①第 10 回国際エイズ学会 HIV/AIDS に関する学術会議（IAS 2019）

日程・開催地：2019 年 7 月 21 日～24 日、メキシコ合衆国メキシコシティ

助成対象者：10 名

②Fast-Track Cities 2019

日程・開催地：2019 年 9 月 8 日～11 日、英国・ロンドン

助成対象者：3 名

③CROI 2020（The annual Conference on Retroviruses and Opportunistic Infections）

日程・開催地：2020 年 3 月 4 日～7 日、米国シアトル

助成対象者：15 名

8 クリニカル・ケア・オプションズ日本語版（公1・普及啓発事業）

米国の医学生涯教育プログラムのプロバイダーであるクリニカル・ケア・オプションズ（Clinical Care Options）の HIV 感染症分野から、日本においても有用と考えられるトピックス、コンテンツを取り上げ、日本語に翻訳、ホームページにて公開した。また、NAM Publications が発行する HIV 領域におけるコンテンツから、国際学会公式ニュースレポートを取り上げ、公開した。

9 UNAIDS 支援事業（公1・普及啓発事業）

(1) HIV 対策の充実と 90-90-90 達成の高速対応を約束するパリ宣言への国内都市の署名を目指し、行政・医療機関・当事者団体の関係者と連携し、情報提供を行った。

(2) 翻訳協力

UNAIDS「技術支援」を日本語訳にし、冊子 200 部を作成して、関係機関に配布した。

II HIV 感染者等保健福祉相談事業等（厚生労働省委託事業）

1 HIV 感染者等保健福祉相談事業（公5・相談事業）

(1) エイズ中核拠点病院における相談事業

エイズ中核拠点病院（38 機関）に相談員を配置し、HIV 感染者・エイズ患者等への心理的援助を行った。

また、エイズ中核拠点病院の心理カウンセラー、MSW 等相談員を対象に、HIV 感染症／エイズの最新知識の習得と HIV 陽性者のカウンセリングにおける問題と対応の共有により、相談者への対応・支援に関する能力の向上を図るため、研修会を開催した。

実施日：令和元年 11 月 2 日（土）～3 日（日）

場 所：フクラシア八重洲（東京都中央区）

参加者：41 人

（2）HIV 検査事業

ア 厚生労働省主催イベントに合わせた臨時 HIV 検査を実施した。

○HIV 検査普及週間

実施日：令和元年 6 月 2 日（日）

場 所：シブヤ・ネクサス（東京都渋谷区）

受検者：77 人

○世界エイズデー

実施日：令和元年 12 月 1 日（日）

場 所：シブヤ・ネクサス（東京都渋谷区）

受検者：68 人

イ 「HIV 検査情報サーチ」における情報サービスの実施

全国の保健所等における検査日時や場所、予約の方法、電話相談等についての情報を収集し、エイズ予防情報ネット（以下「API-Net」）を通じて提供した。

（3）専門相談員による電話相談

当財団内に電話相談室を設置し、専門相談員による電話相談を実施した（フリーダイヤルで、月曜から金曜までの毎日、10 時～13 時、14 時～17 時）。

令和元年度電話相談受付件数：4,849 件

2 HIV 診療医師情報網支援事業（公 1 ・普及啓発事業）

HIV 感染症の臨床医等による交流等の連携を図るため各ブロックに設置された情報網に対し、財政的支援を行った。各情報網では、症例検討会や講演会の開催、ネットワーク紙の発行等のほか、今後の取り組みを共有するための会議を開催した。

支援先情報網（6 ヶ所）

東北 HIV 診療ネット／東海ブロックエイズ診療拠点病院連絡協議会／北陸 HIV 臨床談話会／関西 HIV 臨床カンファレンス／岡山 HIV 診療ネットワーク／九州ブロックエイズ診療ネットワーク

3 エイズ国際協力計画推進検討事業（公4・調査研究事業）

アジア地域におけるわが国の HIV 感染症・エイズ対策分野での国際協力計画作成のための提言を行うことを目的に、タイ王国を訪問し、HIV 感染症流行状況、エイズ予防啓発活動などの実地視察及び現地担当者との意見交換等を行った。

訪問地：タイ王国 バンコク

日 程：令和2年1月5日（日）～8日（水）

調査者：阿部憲介（独立行政法人国立病院機構仙台医療センター薬剤部）

柏崎正雄

4 エイズ予防情報センター事業（公4・調査研究事業）

WEB サイト「エイズ予防情報ネット」（API-Net）を運営し、HIV 感染者・エイズ患者やその家族、一般国民、医療関係者等に対し、エイズに関する啓発情報、HIV 検査情報、NGO 活動情報等を提供した。特に、「世界・日本の状況」のコンテンツの中では、UNAIDS 等から発表された冊子について翻訳協力を行い、ホームページにて公開した。

また、サイトのリニューアルを実施し、レスポンシブデザインの採用によりスマートフォン・タブレット端末での閲覧にも最適化した。

年間の主な更新回数は32回、アクセス件数は175,429件であった。

5 青少年エイズ対策事業

（1）研修担当者育成事業（公3・人材育成事業）

性に関する意思決定や行動選択に係る能力が形成過程にあるとして個別施策層とされる高校生・中学生に対する、学校と地方行政とが連携した効果的な HIV 感染症・STI 予防教育を実践するため、全国の地方自治体・保健所等の職員等を対象とした研修会を実施した。

実施日：令和元年12月18日（水）

場 所：宝塚大学看護学部（大阪梅田キャンパス） 4階（大阪府大阪市北区）

受講者：78人

（2）「世界エイズデー」キャンペーンテーマ検討会議の実施（公1・普及啓発事業）

「世界エイズデー」キャンペーンテーマの決定プロセスにできるだけ多くの人に関与してもらおう、API-Net による意見募集、対面及びインターネットによる聞き取り調査の後、選考委員によるテーマ検討会議での議論、ワーディングを経てキャンペーンテーマ案を策定し、厚生労働省に提出した。

（3）「世界エイズデー」ポスターコンクール（公1・普及啓発事業）

全国の小学校、中学校、高等学校の児童・生徒及び一般を対象に、HIV 感染症・エイズ予防及び差別・偏見の解消を呼びかけるポスターコンクールを実施した。選考は、デザインの専門家、有識者等によるポスターコンクール審査会を設置して行った。

受賞作品は API-Net で公表するとともに厚生労働省主催の世界エイズデーイベント会場においてパネル展示した。また、世界エイズデーキャンペーンポスターとして選定した作品は、厚生労働省により印刷され、全国に配布された。

募集期間：平成 31 年 4 月 24 日（水）～令和元年 9 月 4 日（水）

応募総数：500 点、第 1 次審査通過作品 59 点

結果：中・高・一般の各部門につき最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点、佳作 3 点を選考した（小学生の部のみ佳作 3 点）。また、各部門の最優秀賞作品の中から 1 点を世界エイズデーキャンペーンポスターとして選定した。

6 ボランティア指導者育成事業（公 3・人材育成事業）

エイズ NGO 活動におけるリーダー養成のため、NGO 指導者研修会を開催し、HIV 感染症の流行状況と課題、HIV 陽性者の相談・支援、予防介入手法、NGO 等の関係機関による取り組み等の学習の他、各 NGO の活動内容の発表及び意見交換、NGO 活動の課題と解決をテーマとしたワークショップを行い、持続可能な活動のためのスキルの向上を図る機会を提供した。

実施日：令和元年 6 月 21 日（金）～22 日（土）

場 所：飯田橋レインボービル、TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター（東京都新宿区）

受講者：13 人

7 相談員養成研修事業（公 3・人材育成事業）

（1）HIV／エイズ基礎研修会

HIV 感染症／エイズに関する基本的な知識及び HIV 陽性者や支援活動への理解の向上を図るため、次のとおり研修会を実施した。

目 的：HIV 感染症の流行動向、HIV 感染症診療に関する最新情報を学ぶとともに、HIV 陽性者、セクシュアリティ、予防啓発の実際を知る。

対 象：エイズに関する業務・活動に携わる（又は携わろうとしている）行政担当者、医療関係者、教育関係者、介護関係者、企業、NGO、学生等

実施日：東京 令和元年 6 月 21 日（金）

大阪 令和元年 7 月 12 日（金）

場 所：東京 飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

大阪 天満研修センター（大阪府大阪市北区）

受講者：東京 78 人、大阪 81 人

（2）HIV 検査相談研修会

HIV 感染症／エイズに関する相談体制の質の向上・充実を図るため、次のとおり研修会を実施した。

目 的：HIV 感染症の病態・治療、HIV 検査、社会福祉制度、セクシュアリティ、カウンセリングに関する知識や対応ポイント等について学ぶとともに、検査相談時対応の演習を行う。

対 象：HIV 検査相談業務に携わる保健所、保健センター、クリニックを含む医療機関及びその他機関の担当者

実施日：令和元年 8 月 22 日（木）～23 日（金）

場 所：飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

受講者：80 人

8 中核拠点病院連絡調整員養成事業（公 3・人材育成事業）

エイズ中核拠点病院の看護師等を養成し、HIV 診療に必要なチーム医療の調整及び地方ブロック拠点病院やエイズ治療拠点病院との調整に必要な能力を習得させることにより、地方ブロック拠点病院に患者等が集中する事態の解消並びに適切な医療の提供を図った。

（1）研修事業

エイズ中核拠点病院において HIV 医療に係る診療科間連携調整等のチーム医療に従事する看護師等を対象とし、6 週間の研修を実施した。

研修期間中初期の 4 週間は ACC 又は国立病院機構大阪医療センターの実施するコーディネーターナース研修への参加とし、その後の 2 週間は地方ブロック拠点における実地研修を行った。

受講者：慶應義塾大学病院 1 人（ACC／新潟大学医歯学総合病院にて研修）

沼津市民病院 1 人（ACC／国立病院機構名古屋医療センターにて研修）

（2）全国中核拠点病院連絡調整員会議

前記のチーム医療に従事する看護師等の連絡調整員（同様の役割を担う者を含む。）等を対象とする会議を開催すべく準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止とした。

9 HIV 感染者・エイズ患者の在宅医療・介護の環境整備事業

治療の進歩により長期存命が可能となった HIV 感染者・エイズ患者に対する在宅医療・介護の環境を整備するため、訪問看護を行う看護師等への実地研修、在宅医療・介護を行う医療機関等への支援チーム派遣、地域で患者等の診療に携わる医師、歯科医師等への HIV 医療講習会を実施した。

（1）実地研修事業（公 3・人材育成事業）

訪問看護・訪問介護サービスを提供している事業所の看護師や介護職員をエイズ中核拠点病院等に派遣し、HIV 感染症／エイズ医療に係る実地研修を実施した。研修を実施した

病院は 18 病院で、受講者数は 57 人であった。なお、新型コロナウイルス感染拡大のため研修を予定したが実施できなかった病院が 4 病院あった。

(2) 支援チーム派遣事業（公 5・相談事業）

エイズ治療の専門的知識を有する支援チームをエイズ中核拠点病院に設置し、在宅医療・介護を行う医療機関等の要請に基づいて同支援チームを派遣する事業を実施した。支援チームを設置した病院は 26 病院であり、そのうち支援チームを派遣したのは京都大学医学部附属病院（1 回）、愛媛大学病院（2 回）、産業医科大学病院（1 回）、熊本大学病院（3 回）であった。

(3) HIV 医療講習会の開催（公 3・人材育成事業）

地域で患者等の診療に携わる医師、歯科医師、看護師、臨床工学技士等を対象として、HIV 感染症／エイズに関する知識や感染予防等に関する講習会を都道府県医師会、同歯科医師会、同透析医会の協力を得て実施した。講習会を実施した医師会は 9 府県、歯科医師会は 14 道府県、透析医会は 2 県であった。

III 同性愛者等向けコミュニティセンター事業

（厚生労働省委託事業、公 1・普及啓発事業）

同性愛者等向けコミュニティセンター（以下「センター」）を、仙台市青葉区国分町、東京都新宿区新宿 2 丁目、名古屋市中区栄、大阪市北区堂山町、沖縄県那覇市壺屋の 5 地域に設置し、以下の事業を行った。

(1) 地域ボランティア団体（CBO）による運営

センターの運営は、上記研究班においてコミュニティベースの啓発活動の実績を示してきた、地域の男性同性愛者等で構成する CBO の協力を得、同性愛者等に訴求性のある効果的な啓発活動を推進した。財団は、各センターでの CBO 活動を効果的に進めることを総合的に支援する役割を担った。また、地域における男性同性間の HIV 感染対策と連結するよう、自治体とも密接な連携を図った。

(2) HIV 感染症・エイズ予防啓発のための資材作成と配布

同性愛者等のセクシュアル・マイノリティや HIV 感染者に対する偏見・差別については、地域によって異なった背景があるため、対象地域の特性に配慮しつつ、訴求性のある啓発資材等を開発し、普及を図った。

(3) 同性愛者等における HIV 感染症・エイズの予防や支援のための研修会の実施

地域の同性愛者等に対する偏見や差別を解消するため、また、HIV に関する相談や HIV 検査等を同性愛者等が安心して受けられる環境を構築するため、保健医療従事者、教育関係者、自治体職員等を対象とする研修会を実施した。

(4) 相談事業

同性愛者等の性的指向を踏まえた、感染予防や HIV 検査機関等に関する相談、情報提供を行った。また、相談件数、内容等の集計を行った。

(5) その他の事業

本事業は、同性愛者等を対象としている商業施設が集積する地域において啓発活動を行う拠点を設置するものであり、各種施設や企画イベントと連携することで、より一層の効果が期待されるため、5 地域での連携を図った。商業施設を中心としたコミュニティに出入りすることのない同性愛者等に対しても、啓発イベント、インターネット、各種メディア等を通じて啓発普及を図った。

IV エイズ対策研究推進事業 (厚生労働科学研究費補助金)

厚生労働科学研究事業エイズ対策研究事業を推進するため、以下の事業を実施した。

実施に当たり、応募申請の審査、採択を行うため、エイズ対策研究推進事業運営委員会を設置した。委員会は 6 回開催した。

委員：石川信克 (結核研究所) / 梅田珠実 (国立国際医療研究センター) / 倉田毅、
大澤英司 (国立感染症研究所) / 中村安秀 (甲南女子大学)

なお、外国の研究機関等への委託事業については、公募を行ったが申請者はなかった。

(1) 外国人研究者招へい事業 (公 2・助成事業)

エイズ研究及びエイズ対策の分野で、優れた研究等を行っている専門家とわが国の専門家が共同討議、情報交換などを実施することにより、わが国のエイズ研究及びエイズ対策の一層の進展を図ることを目的として、外国人研究者を招へいした。

・招へい者数 2 名 (国別) オーストラリア 1 名、アメリカ 1 名

(2) 外国への日本人研究者派遣事業 (公 2・助成事業)

わが国の研究者を外国の大学、研究機関などに派遣してエイズ研究や研修などを行わせ、その成果をエイズ研究及びエイズ対策の推進に役立たせるため、次のとおり実施した。

・派遣者数 1 名 派遣国 イタリア

(3) 若手研究者育成活用事業 (公 2・助成事業)

わが国のエイズ対策研究に参画させることにより、当該研究の推進を図るとともに、将来のわが国におけるエイズ対策研究の中核となる人材の育成に努めた。

・若手研究者人数 16 名

・派遣先 地方ブロック拠点病院等 (9 機関)

V 地方ブロック拠点病院医療従事者等確保事業（厚生労働省補助金）

エイズ地方ブロック拠点病院の役割である下記業務実施にふさわしいと判断される者、9人を非常勤職員として採用し、エイズ地方ブロック拠点病院8カ所に出向させた。

業務内容

研 修：ブロック内の拠点病院等の医療従事者に対する最新の治療方法に関する研修会、症例検討会、臨床実地研修等を実施する。

情 報：エイズ医療ネットワークの活用等により、ブロック内の拠点病院等、患者・感染者からの診療に関する相談への対応、情報の収集、提供を行う。

出向先は次のとおりである。

北海道ブロック：北海道大学病院

東北ブロック：国立病院機構仙台医療センター

関東・甲信越ブロック：新潟大学医歯学総合病院

北陸ブロック：石川県立中央病院

東海ブロック：国立病院機構名古屋医療センター

近畿ブロック：国立病院機構大阪医療センター

中国四国ブロック：広島大学病院

九州ブロック：国立病院機構九州医療センター

なお、患者・感染者の支援に関する活動をする HIV 診療等に関して十分な経験を有する看護師又は医療ソーシャルワーカー若しくは臨床心理士については、エイズ地方ブロック拠点病院からの要望がなかったため、実施には至らなかった。

VI 血液凝固異常症実態調査事業（厚生労働省委託事業、公4・調査研究事業）

血液製剤を通じて HIV に感染した血友病患者を中心に血液凝固異常症の病態を把握し、治療の向上と生活の質の向上に寄与することを目的として、血液凝固異常症患者を治療している全国の医療機関を対象に調査を実施した。1,223 施設、1,404 担当医等に調査票を送付し、593 施設、680 担当医等から約 4,431 の症例について回答を得た。

調査結果報告書は、回答のなかった医療機関を含め、すべての担当医及び患者等に提供し、フィードバックすることにより患者の治療と QOL の向上を図った。

調査の精度及び専門性を確保するため、医療関係者及び患者で構成する全国調査運営委員会を設置して実施した。

VII その他事業

(1) 名義の付与

出版社等の発行する小冊子、リーフレット等の監修を行い、監修名義を付与した。

自治体・企業・団体等が主催する HIV 感染症／エイズに関する講演会、チャリティイベント等に後援名義を付与した。

管 理 部 門

1 理事会

(1) 第 26 回理事会

日 時：令和元年 6 月 10 日（月） 16 時 45 分～17 時 30 分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 案：平成 30 年度事業報告の承認の件／平成 30 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び附属明細書並びに財産目録の承認の件／決議の省略の方法による評議員会を招集する件

報 告：第 25 回理事会（平成 31 年 3 月 25 日）以降の職務執行の状況

(2) 第 27 回理事会（決議の省略の方法による）

日 時：令和元年 6 月 25 日（火）

議 案：代表理事の選定の件／理事長の選定の件

(3) 第 28 回理事会

日 時：令和元年 12 月 9 日（月） 15 時～15 時 30 分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 案：事務局長の交代の件／役員候補者の検討の件

報 告：第 26 回理事会（令和元年 6 月 10 日）以降の職務執行の状況

(4) 第 29 回理事会

日 時：令和 2 年 3 月 25 日（水） 16 時～17 時 15 分

場 所：エイズ予防財団会議室

議 案：令和 2 年度エイズ予防財団助成事業助成対象者の決定」の件／令和 2 年度事業計画・収支予算の承認の件

報 告：第 28 回理事会（令和元年 12 月 9 日）以降の職務執行の状況

2 評議員会

(1) 第 10 回評議員会（決議の省略の方法による）

日 時：令和元年 6 月 25 日（火）

議 案：平成 30 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の承認の件／理事の選任の件／監事の選任の件／評議員の選任の件

<附属明細書の作成について>

令和元年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので、附属明細書は作成していません。

令和2年6月

公益財団法人エイズ予防財団